

1. 活動日時

2. 令和4年8月10日（水）8:30-17:30

2. 活動場所

福井県南条郡南越前町二ツ屋地区、下新道地区、大桐地区、赤萩地区、大谷地区

3. 被害状況

河野村赤萩地区は、33軒中集落の下地区14、5軒が床上浸水の被害を受けている。

4. 活動の実際

8:00 今庄中学校ボランティアセンターで医療活動班11名集合。

8:30 隊員とミーティング。二ツ屋地区と下新道地区の健康観察、大桐地区までの道路状況再調査グループの3班に編成。酒井隊員が南越前町役場保健師に昨日の報告を行い、本日の健康観察予定手を確認。指衛生消毒薬18個をもらう。

10:00 活動開始。二ツ屋班と下新道班は巡回しながら各地区に設置してある仮設トイレに手指衛生消毒の設置、使用手順ポスターを貼付。酒井、花房、作川は大桐地区への移動確認を行う。

10:30 大桐方面道路工事中。側副路も重機が交差し徒歩困難にて引き返す。

10:50 明日より新開設するボランティアバスセンター場所の確認。

11:05 河野村赤萩地区方面に移動。

11:30 赤萩地区区長に挨拶。状況確認 各戸泥はけ作業を行っていた。各自疲労が溜まり健康観察の需要あり。酒井、花房、巡回中のケアマネージャーと合流。酒井、花房、ケアマネージャーにて4名の健康観察を行う。作川、赤萩地区に活動班の調整のためボラセンに戻る。

12:30 医療活動班3名大桐地区移動開始。

13:00 医療活動班6名赤萩地区に移動、健康観察開始。

14:00 酒井、花房、作川大谷地区に移動視察。

15:30 ボランティアセンターに戻り聞き取り調査をまとめ。

16:30 酒井、花房、作川は新設予定のボランティアバスセンターの説明会に参加。

17:30 明日の打ち合わせを行い活動終了。

<下新道地区>

対象者2名 昨日観察を行った2名中1名血圧高め 他異常なし 経過観察。

<二ツ屋地区>

対象者6名中2名高血圧、1名下痢気味、1名食欲不振、1名不眠あり。3名生活用水を運ぶため身体疲労、膝の痛み、腰痛症状あり。断水が続くことでの疲労ストレスあり。

<大桐地区>

対象者6名中1名昨日内服を持参した方の大きな変化なし。診療所に報告する。必要物品の追加なし。

<赤萩地区>

昨日まで支援が入らず、近所のみでの泥だし作業を行っていた。赤萩地区には支援が来ないという住民の訴えが報道され、縁故関係の飛び入りボランティアが入り、本日より2日間休息を予定していたが休

息が出来なくなり地区のペースが乱れ疲弊していた。

対象者 13 名中 1 名不眠と便秘により内服希望者あり。保健師と連絡をとり 1 時間後河野村診療所受診し内服処方あり。1 名両下肢の長靴かぶれ数か所あり。一部化膿あり保健師に処置依頼を行う。1 名高血圧低酸素傾向あり深呼吸誘導にて改善。1 名高血圧、腰痛 1 名下肢のむくみ、内服忘れあり。転倒のリスク大。見守りの必要性あり。

<大谷地区>

土砂災害あるが家屋の被害 1 軒。重機による土砂除去作業中。孤立なし。生活に大きな影響見られず。

5. 健康上の問題・課題

断水の継続で疲労が増し、断水が改善されるまで健康被害への大きな影響が懸念される。支援が遅れていた赤萩地区では、マスコミにより紹介され飛び入りボランティアが入ることで、地区のペースが乱れ休息がとれなくなり前線で活動している 60 歳台の疲労や不眠、高血圧が生じていた。健康被害を防ぐためのボランティアの調整も必要。

6. 所感

昨日より、断水地区 4 軒に 1 箇所の割合で仮設トイレの設置が開始されたが、高齢者が使用できるように使用方法や手指衛生消毒薬の設置に関しての活動を行った。物があっても被災者の需要につながらない例が多い。現場の支援者には情報がおりてこない場合や必要なことが伝わらない場合もある。災害支援については、皆が慣れていないため今何が必要なのかどこから手を付ければよいのかがわからないことが多く、災害時のアドバイザーなどによる助言がほしいという要望もあった。住民の為には、行政や保健師、専門家が連携した被災地の視察が望まれる。



大桐地区への道路の橋の崩落現場徒歩で移動



健康観察 傾聴 涙を流される場面もあり



医療チームでの健康観察 若者との会話で笑顔



仮設トイレ 足で踏まないと水が流れない
説明ポスター貼付